

東証一部 6143

# 未来を創る

2016年3月期

## 決算説明会

2016年5月19日

**Sodick**  
株式会社 ソディック

<b>ポイント</b> .....	<b>3</b>
<b>I. 2016年3月期 決算概要</b> .....	<b>4</b>
<b>II. 2017年3月期 業績予想</b> .....	<b>17</b>
<b>III. 株主還元</b> .....	<b>22</b>
<b>IV. 中長期的戦略及び見通し</b> .....	<b>24</b>
<b>(参考資料)</b> .....	<b>28</b>

## 2016年3月期

- ✓ 売上高651億46百万円（前期比+3.3%増）、営業利益63億53百万円（前期比+29.9%増）と増収増益を達成。
- ✓ 工作機械事業が好調に推移し、業績を牽引。
- ✓ 生産性向上、調達コストの低減等により、売上総利益率が改善。

## 2017年3月期 通期業績見通し

- ✓ 先進国市場（国内、北米、欧州）においては、自動車・航空宇宙関連の設備投資需要が底堅いことから、引き続き好調に推移する見通し。
- ✓ 中国をはじめとする新興国市場においては、中国の成長率鈍化の影響もあり、総じて減速感が見られるものの、人件費の高騰などに伴い自動化・高精度な設備需要が増加する見通し。
- ✓ 売上高655億円、営業利益58億円を見込む。

## 中長期的成長戦略

- ✓ 金属3Dプリンタの研究開発・販売を加速し、早期に新たな事業の柱に成長させるとともに、ワンストップソリューションを活かした新製品群の投入により既存事業（工作機械事業、産業機械事業）の相乗的成長を図る。
- ✓ 2019年3月期までに売上高775億円、営業利益90億円を展望。

# **I . 2016年3月期 決算概要**



# 業績ハイライト

- ✓ 2016年3月期は前期比+3.3%の増収。
- ✓ 利益面では、生産効率の向上、調達コストの低減等が寄与し、売上総利益率が改善（前期比3.4ポイント上昇）。

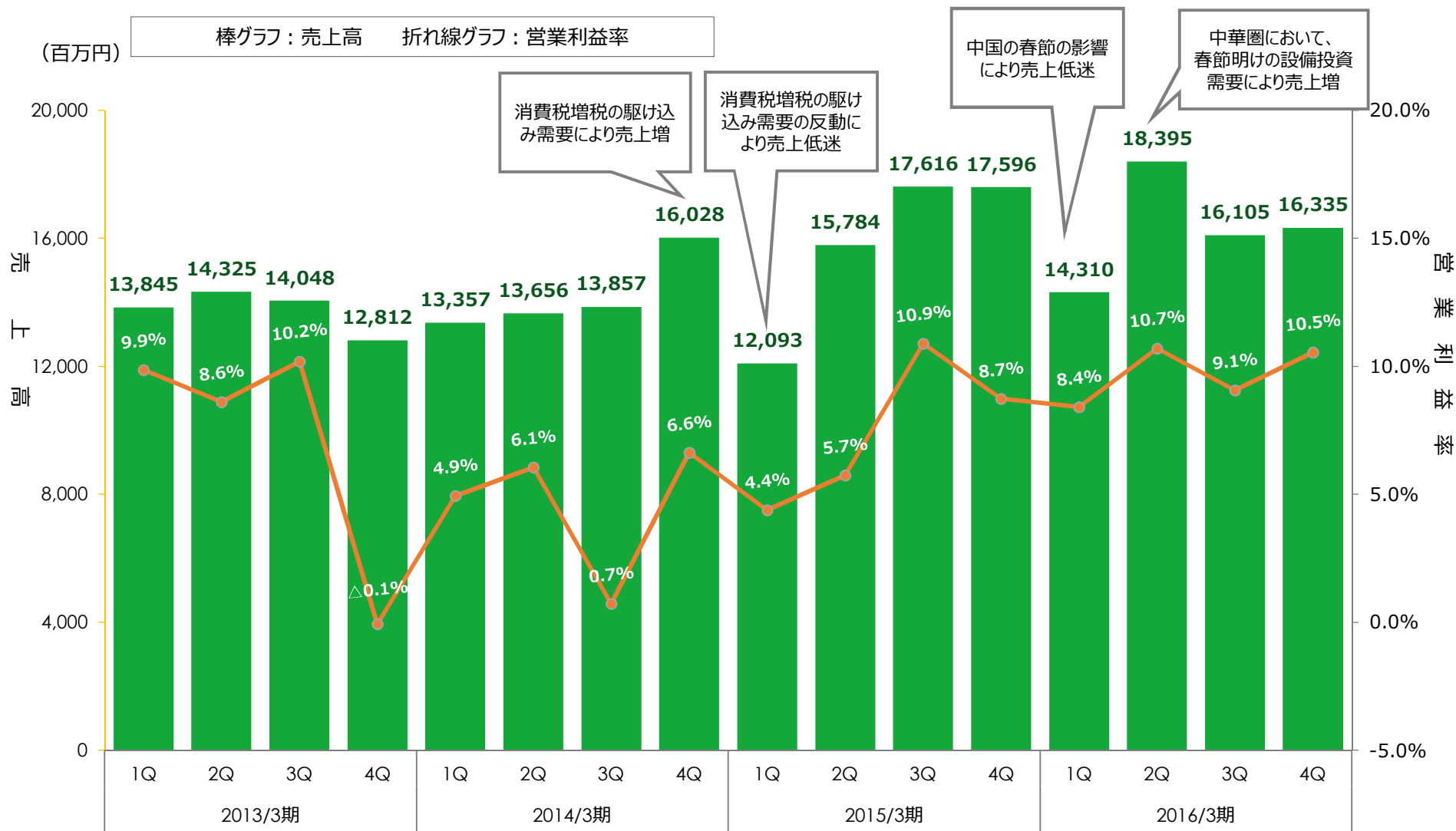
(百万円)

	2015年3月期		2016年3月期		前期比		2016年3月期 通期予想 (2016年2月 10日修正)
	実績	利益率	実績	利益率	金額	増減率	
売上高	63,090	-	65,146	-	2,055	3.3%	64,500
売上総利益	20,876	33.1%	23,777	36.5%	2,900	13.9%	-
営業利益	4,891	7.8%	6,353	9.8%	1,461	29.9%	5,600
経常利益	5,647	9.0%	5,719	8.8%	71	1.3%	5,100
純利益	3,550	5.6%	4,167	6.4%	617	17.4%	4,100
ROE	7.7%		8.4%				
期中平均 為替レート	ドル	109.76 円		120.15 円			120.00 円
	ユーロ	138.69 円		132.60 円			132.80 円
	人民元	17.14 円		19.21 円			19.21 円
	バーツ	3.38 円		3.44 円			3.46 円

※参考情報 2016年3月期末 為替レート ドル：112.68円 ユーロ：127.70円 人民元：18.36円 バーツ：3.19円  
2015年3月期末 為替レート ドル：120.17円 ユーロ：130.32円 人民元：19.35円 バーツ：3.70円

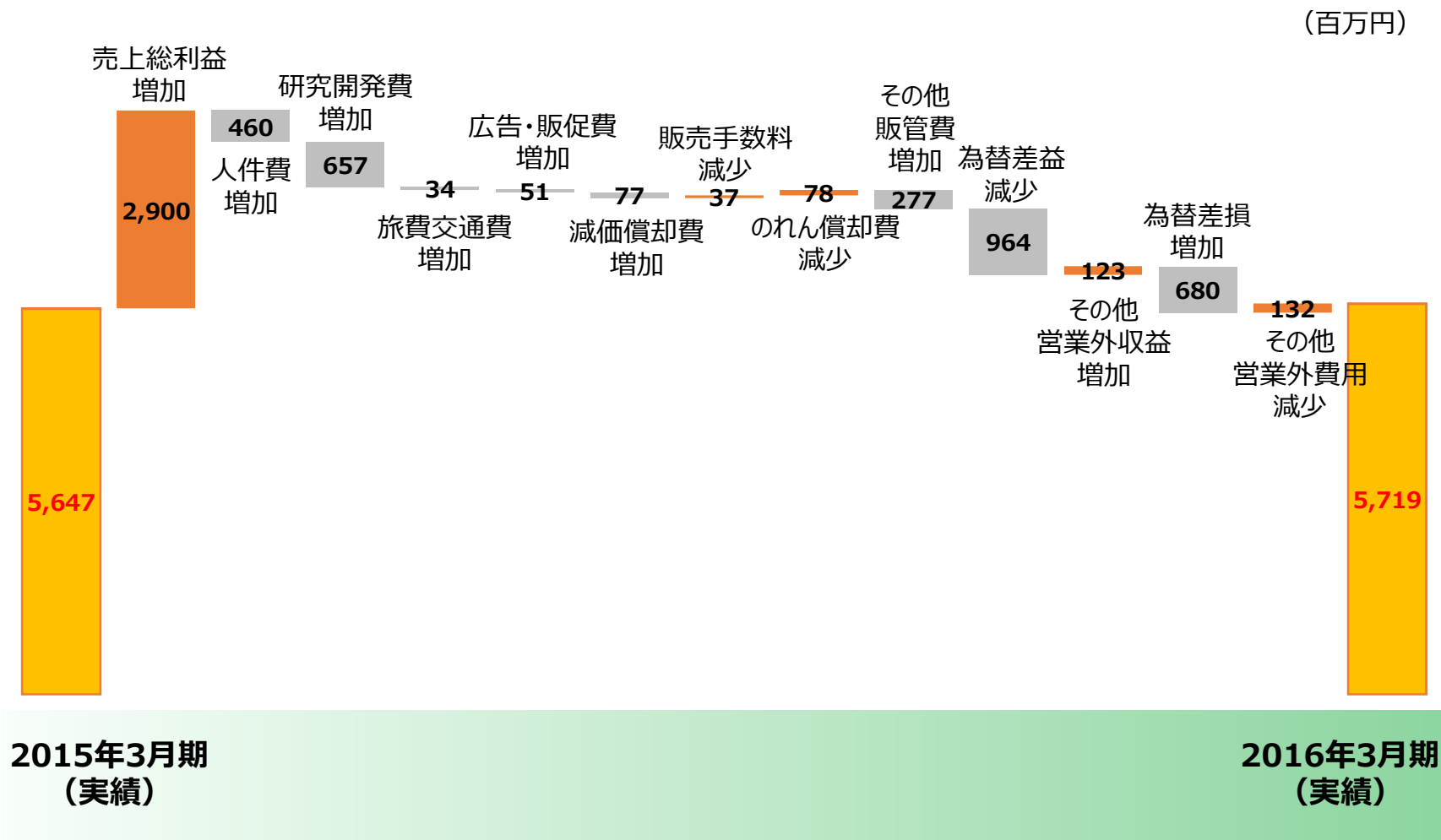
# 売上高・営業利益率推移（四半期毎）

- ✓ 2016年3月期は、期後半から中華圏を含む新興国市場での販売が低迷したことにより、売上は低迷したものの、原価率低減などにより営業利益率は高水準を維持。



# 経常利益増減要因（実績）

- ✓ 人件費、研究開発費、減価償却費等の販管費の増加、為替差損を計上したものの、売上総利益の大幅な増加により、経常利益71百万円増加。



# セグメント別業績

(百万円)

		2015年3月期	2016年3月期	前期比	
		実績	実績	(額)	(率)
売上高	● 工作機械事業	46,783	47,789	1,005	2.1%
	● 産業機械事業	8,189	8,633	443	5.4%
	● 食品機械事業	2,790	3,562	771	27.6%
	● その他事業	5,326	5,161	△ 165	△3.1%
		63,090	65,146	2,055	3.3%
セグメント利益	● 工作機械事業	6,795	7,113	317	4.7%
	● 産業機械事業	20	319	299	1474.3%
	● 食品機械事業	121	492	370	303.8%
	● その他事業	455	813	358	78.7%
		7,393	8,739	1,346	18.2%
調整額		△ 2,501	△ 2,386	114	-
営業利益 合計		4,891	6,353	1,461	29.9%

## 工作機械事業

- ✓ 国内は政府の補助金政策等の影響もあり、自動車関連を中心に好調を維持。
- ✓ 北米、ロシアを除く欧州では自動車、航空宇宙、医療機器関連で堅調な需要が継続。
- ✓ 中国、東南アジア諸国は、自動車、スマートフォン、コネクタの需要が減速。
- ✓ 売上高、営業利益ともに増収増益。

## 産業機械事業

- ✓ 国内は、自動車関連から高精密な車載部品やヘッドライト向けの需要好調だが、スマートフォン関連の需要は一服感あり。
- ✓ 中華圏含むアジア地域では、新興国市場の経済減速や価格競争の激化により、売上・営業利益ともに計画対比では伸び悩む。
- ✓ 原価低減への取り組みで、利益は改善

## 食品機械事業

- ✓ 調理麺の品質向上のための設備投資需要あり。
- ✓ アジア・北米地域など海外からの大口受注が寄与し増収増益を達成。
- ✓ 売上高・利益共に過去最高。

## その他事業

- ✓ リニアモータの外販、精密金型・精密成形事業も自動車関連向けを中心に順調。
- ✓ 半導体メーカー向けセラミックスの外販の落ち込みにより売上高減少。

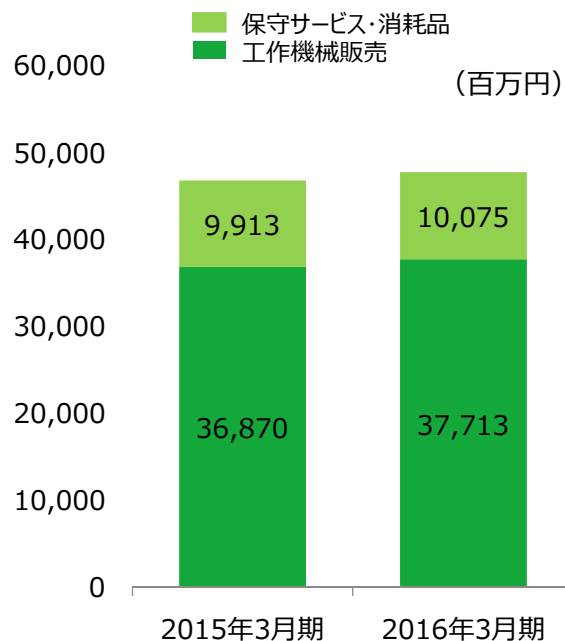


# セグメント別 売上高内訳



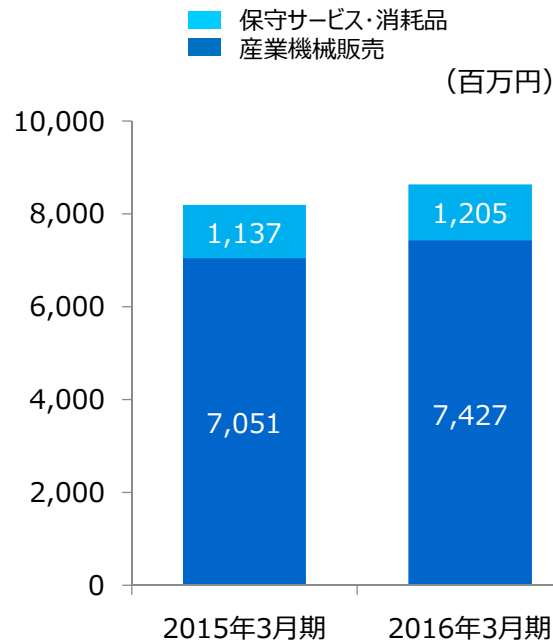
✓ 安定キャッシュを生み出す保守サービス・消耗品の売上高は20%程度を占める。

## 工作機械事業



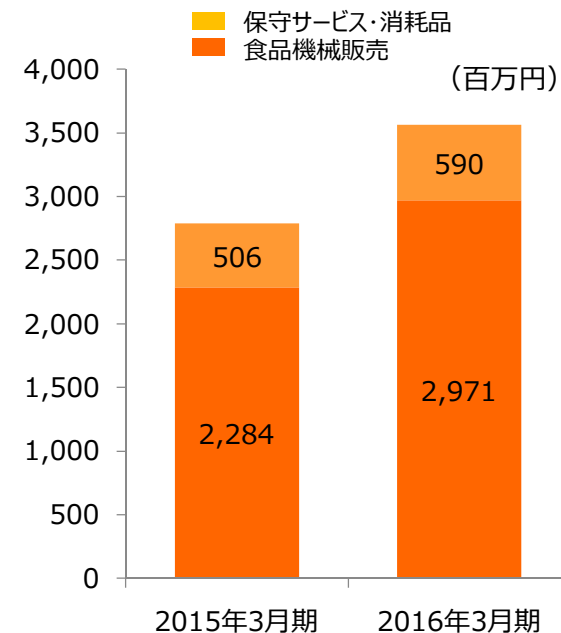
工作機械事業	2015年3月期	2016年3月期
工作機械販売	36,870	37,713
保守サービス・消耗品	9,913	10,075
合計	46,783	47,789

## 産業機械事業



産業機械事業	2015年3月期	2016年3月期
射出成形機販売	7,051	7,427
保守サービス・消耗品	1,137	1,205
合計	8,189	8,633

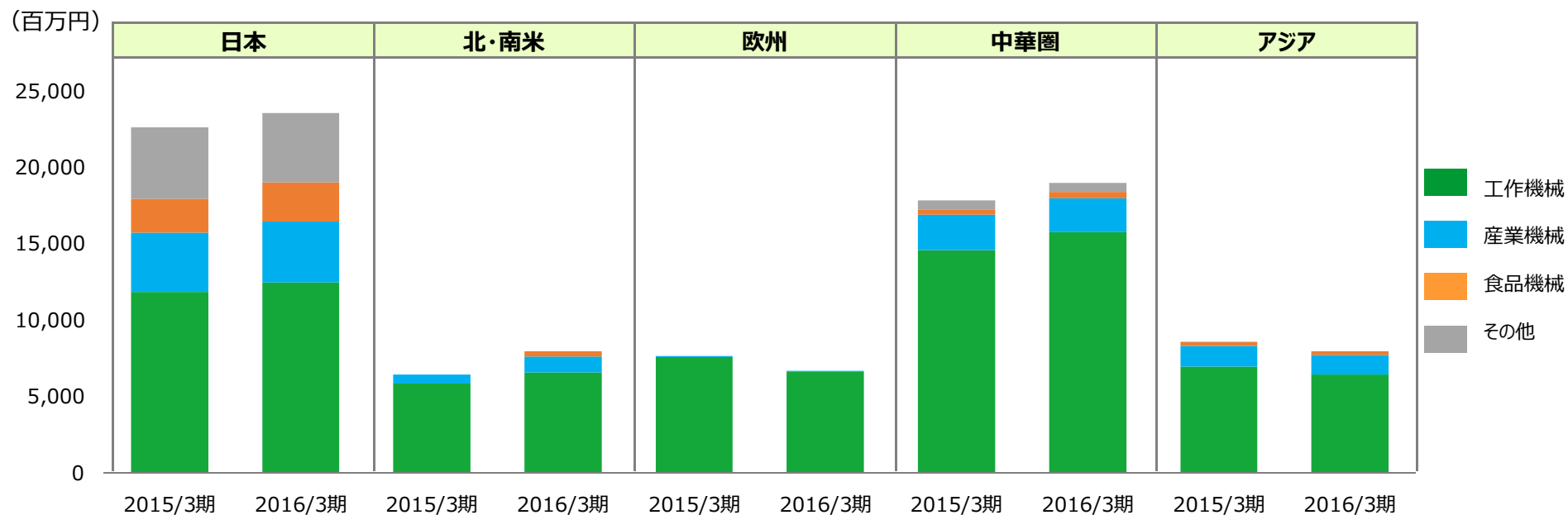
## 食品機械事業



食品機械事業	2015年3月期	2016年3月期
食品機械販売	2,284	2,971
保守サービス・消耗品	506	590
合計	2,790	3,562

# 事業別海外売上高比率

✓ グローバルに事業を展開、海外売上高比率は63.8%。



(百万円)

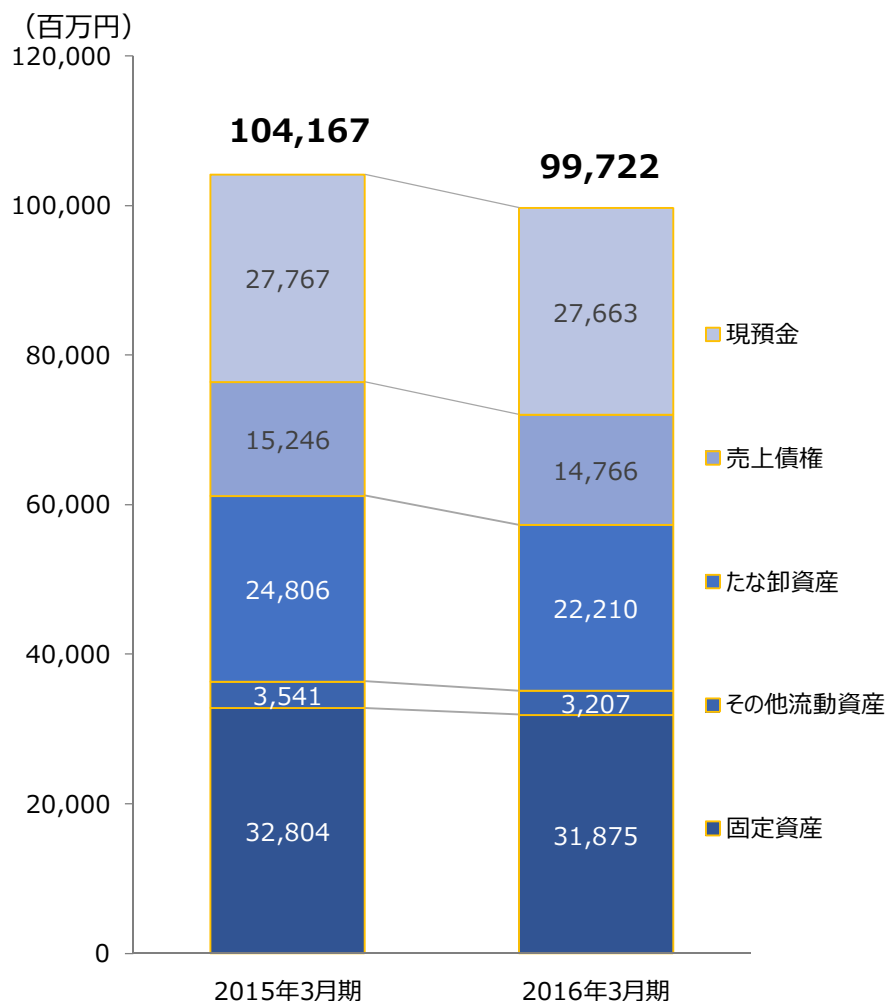
2015年3月期	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計
工作機械	11,848	25.3%	5,830	12.5%	7,555	16.1%	14,592	31.2%	6,956	14.9%	46,783
産業機械	3,880	47.4%	579	7.1%	77	0.9%	2,321	28.3%	1,331	16.3%	8,189
食品機械	2,202	79.0%	0	0.0%	0	0.0%	325	11.6%	263	9.4%	2,790
その他	4,704	88.3%	0	0.0%	0	0.0%	610	11.5%	12	0.2%	5,326
地域別計	22,635	35.9%	6,409	10.2%	7,632	12.1%	17,849	28.3%	8,563	13.6%	63,090

2016年3月期	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計
工作機械	12,466	26.1%	6,562	13.7%	6,591	13.8%	15,757	33.0%	6,410	13.4%	47,789
産業機械	3,983	46.2%	1,055	12.2%	72	0.8%	2,220	25.7%	1,301	15.1%	8,633
食品機械	2,566	72.0%	349	9.8%	0	0.0%	408	11.5%	237	6.7%	3,562
その他	4,558	88.3%	0	0.0%	0	0.0%	603	11.7%	0	0.0%	5,161
地域別計	23,574	36.2%	7,967	12.2%	6,664	10.2%	18,990	29.2%	7,949	12.2%	65,146

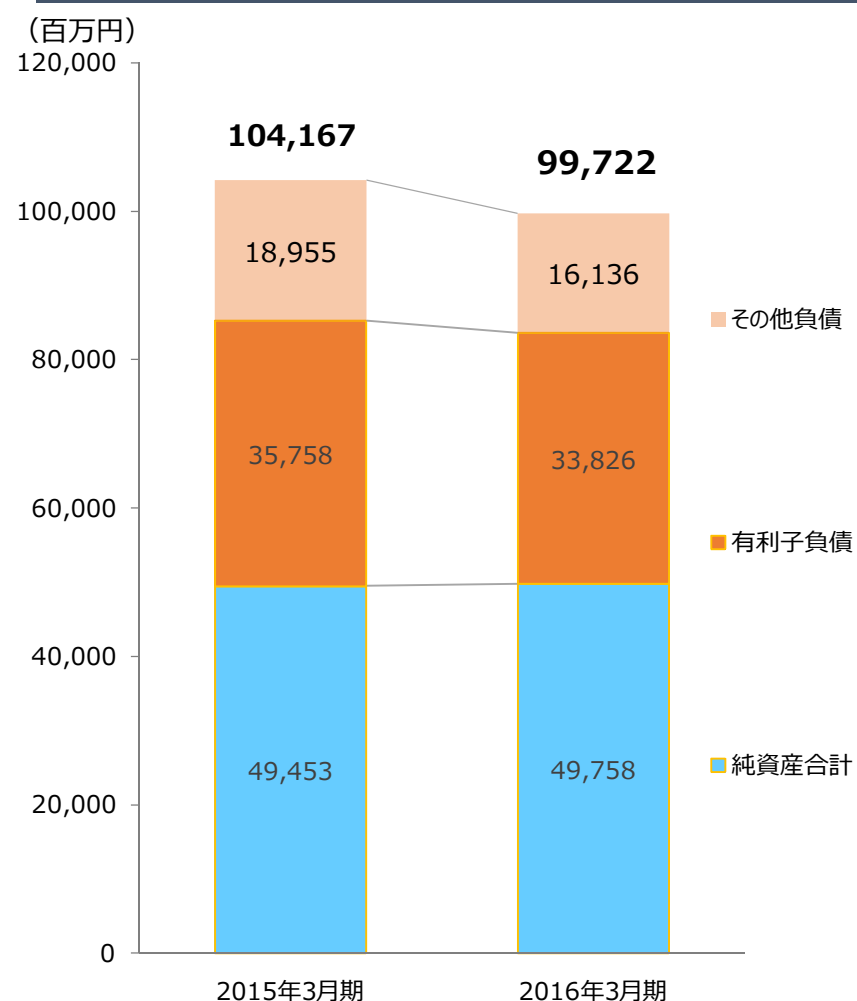
# 貸借対照表

- ✓ ネット有利子負債は61億63百万円まで減少（前期比△18億26百万円）。
- ✓ 流動利率は200%以上と高い水準を維持。

## 資産

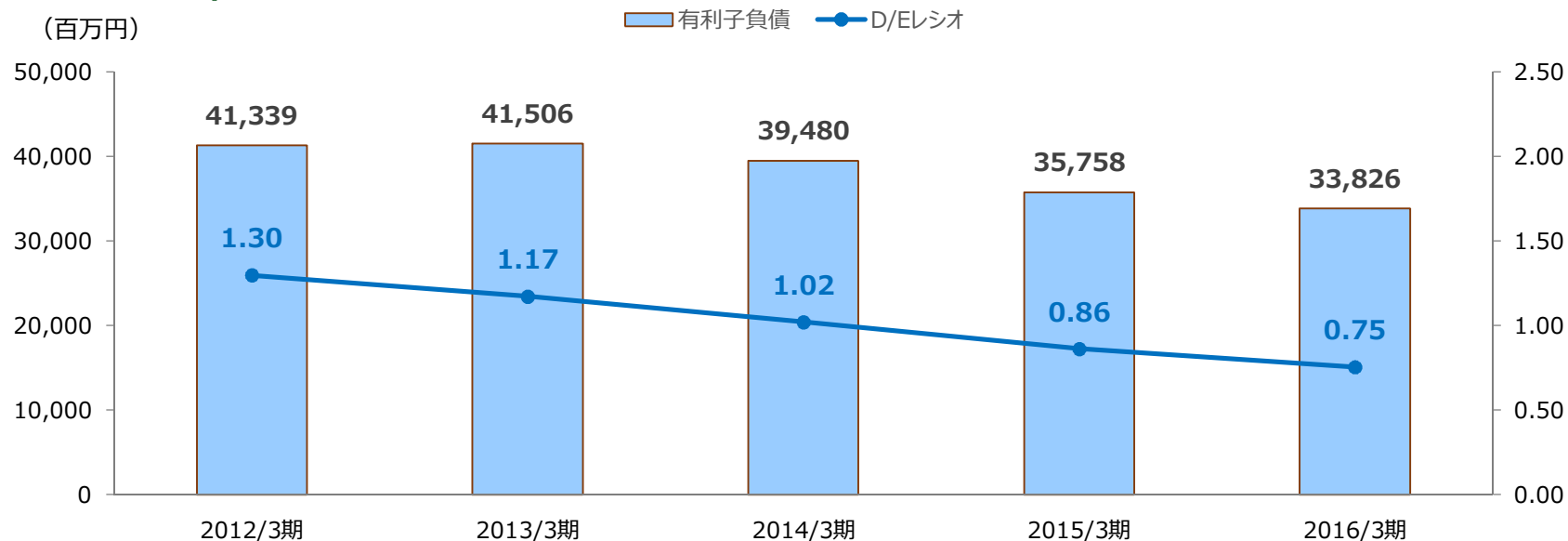


## 負債・純資産

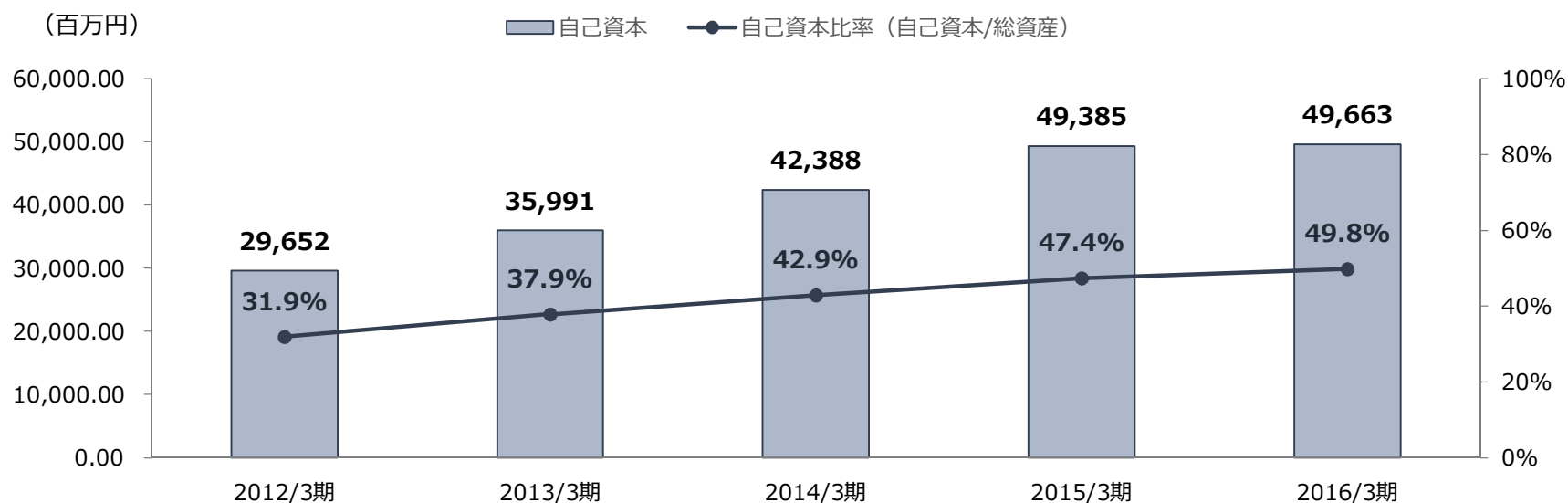


2016年3月期末	為替レート	ドル：112.68円	ユーロ：127.70円	人民元：18.36円	バーツ：3.19円
2015年3月期末	為替レート	ドル：120.17円	ユーロ：130.32円	人民元：19.35円	バーツ：3.70円

## 有利子負債・D/Eレシオ 推移



## 自己資本・自己資本比率 推移

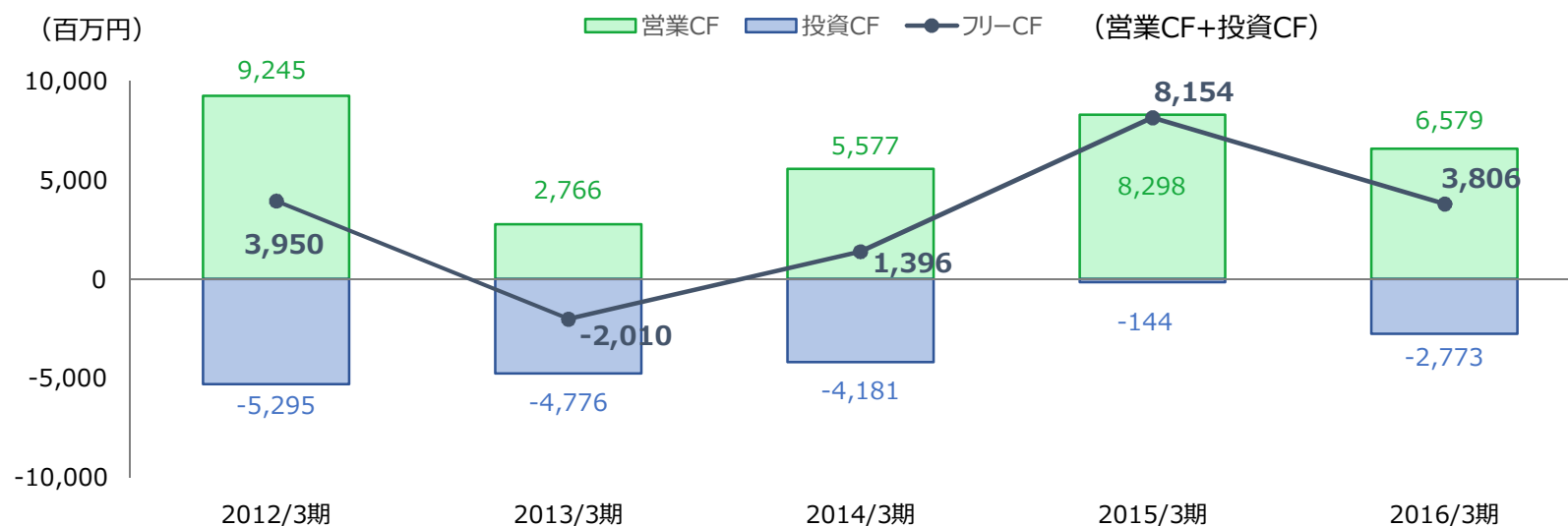


# キャッシュ・フロー

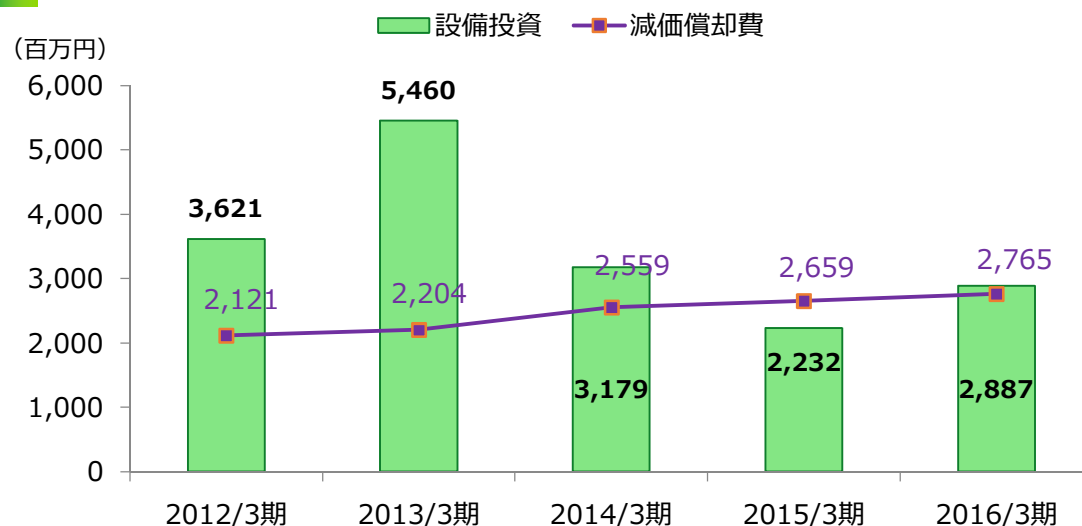
- ✓ フリーキャッシュフローは38億6百万円と大幅なプラス。
- ✓ 有利子負債の削減を図りつつも、手元キャッシュは昨年並みの水準を維持。

(百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	主な要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,298	<b>6,579</b>	仕入債務の減少 法人税等の支払額の増加
投資活動によるキャッシュ・フロー	△144	△ <b>2,773</b>	有形固定資産の取得による支出 約24億円（前期比+約7億）
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,243	△ <b>2,854</b>	長期借入による収入 約113億円 長期借入金の返済 約131億円
現金及び現金同等物の期末残高	27,396	<b>27,328</b>	



## 設備投資／減価償却費の推移



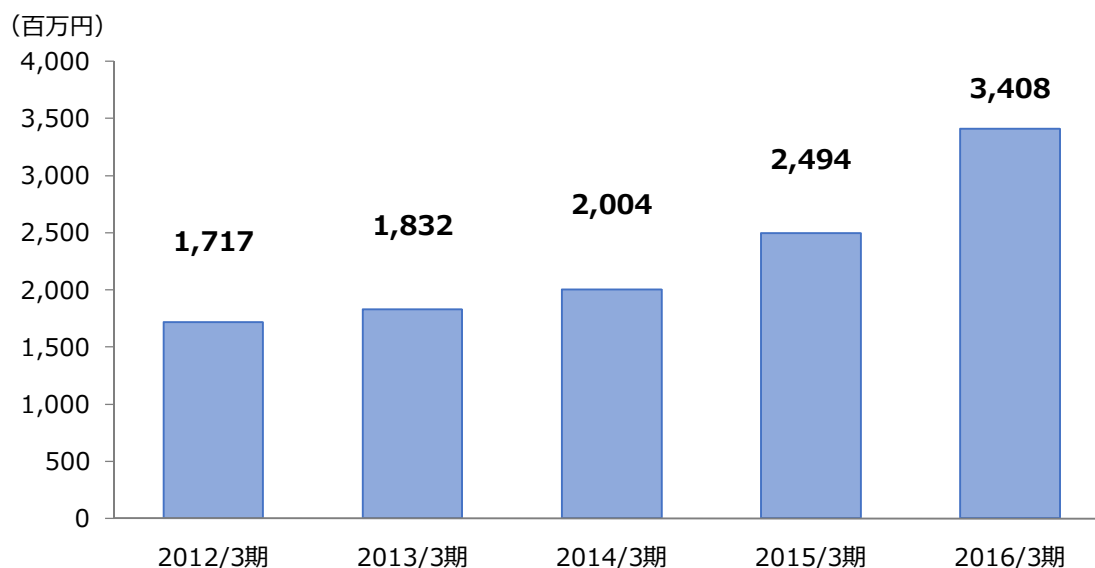
### ▶ 主な設備投資について

✓ 食品機械 新工場への設備投資に約8億円

### ▶ 減価償却費について






✓ 2015/3期 宮崎工場、タイ工場への設備投資、およびソフトウェア（ERP）の減価償却費の増加。

## 研究開発費の推移



### ▶ 研究開発費について

✓ 金属3Dプリンタ関連、射出成形機の研究開発費の増加等により約9億円の増加。

セグメント	工作機械	工作機械	産業機械	産業機械	食品機械
製品名	<p>リニアモータ駆動 ワイヤ放電加工機 「ALシリーズ」</p> 	<p>高品位 マシニングセンタ 「UH650L」</p> 	<p>射出成形機 「mm03」</p> 	<p>射出成形機 「TRシリーズ」</p> 	<p>トレーフィーダー 「TCF-2400」</p> 
販売市場	精密・電子・電気機器、自動車、航空宇宙	スマートフォンやタブレット端末器、先端医療機器市場	時計のギア・ワッシャなどの精密部品	ヘッドライトなどの自動車機構部品をターゲット	コンビニエンスストア、スーパーマーケット市場
製品概要	<p>「ALシリーズ」は加工性能を従来機から更に向上させた製品シリーズ。加工時に張ったワイヤ電極が弧を描くように膨らむ現象を抑える機能を標準搭載するほか、最新の19インチ横型タッチパネルの採用により見やすさ・使いやすさが向上しています。</p>	<p>ヘッド部への新素材CFRPの採用やスピンドルのトルクアップにより、さらに微細で高速な加工の需要に対応。</p>	<p>超小物成形を可能とするV-LINE直圧全電動の射出成形機。ギアやワッシャなどの機械要素部品・機械部品、外内装部品など、これまで以上に広い分野・範囲のメカニカルな超小物部品の成形が可能になります。ソディック製成形機最少スペースを実現した省スペースモデル。レイアウトの自由度が高まるため、設置環境が向上します。</p>	<p>自動車機構部品をターゲットとし、樹脂化が適応される部品の大型化が進み、複雑な意匠形状で肉厚深物の中型成形品において高い歩留まりを実現するマシンです。220トンから450トンまでの中型高付加価値製品用射出成形機をラインアップが拡充しました。</p>	<p>容器トレーの安定した自動供給によって省人化につながります。容器トレーのサイズ・形状を変更しても、段取り替えが容易にできる品種登録機能を備えています。当社製品である「麺ほぐし機」、「スープ充填機」などと連結し利用することで、容器トレーへの麺投入を自動化し、品目の多いお弁当にもフレキシブルに対応できます。</p>

## 1 ソディック プライベートショー 2016を開催

ソディック本社／技術・研修センターにて「ソディックプライベートショー2016」を開催し、最新鋭機を含め20台以上の工作機械・産業機械・食品機械を出展致しました。ソディック独自の最先端技術による金属3DプリンタとV-LINE®射出成形機の「プラスチック金型革命※1」を実演し、多くのお客様から引き合いを頂きました。

【ソディック プライベートショー 2016 概要】

開催場所：ソディック本社/技研・研修センター（横浜市）

開催期間：2/18～2/19

出展機種：OPM250L、ALN400G、VL600Q、UH650L、GL60、GL100 等

来場者数：約700人

※1 金属3Dプリンタ「OPM250L」による新たな生産システム。成形品の生産性向上、リードタイムの大幅な時間短縮、大幅な金型のコストダウンを実現しています。詳細につきましては2015年12月2日付のプレスリリースをご参照下さい。 [http://www.sodick.co.jp/pdf/151202100136\\_OPM250LPIRev20151202.pdf](http://www.sodick.co.jp/pdf/151202100136_OPM250LPIRev20151202.pdf)



## 2 INTERMOLD 2016（第27回金型加工技術展）出展

国内最大級の金型加工技術展である「INTERMOLD 2016」に出展致しました。リニアモータ駆動 高速・高性能ワイヤ放電加工機「AL400G」、リニアモータ駆動 ウルトラハイスピードミーリングセンタ「UH650L」などの新製品を含む主力製品群を出展致しました。

【INTERMOLD 2016 概要】

開催場所：インテックス大阪（大阪市住之江区）

開催期間：4/20～4/23

出展機種：OPM250L、AL400G、UH350L、AG40L、GL60L、TR100VRE 等

来場者数：47,756人

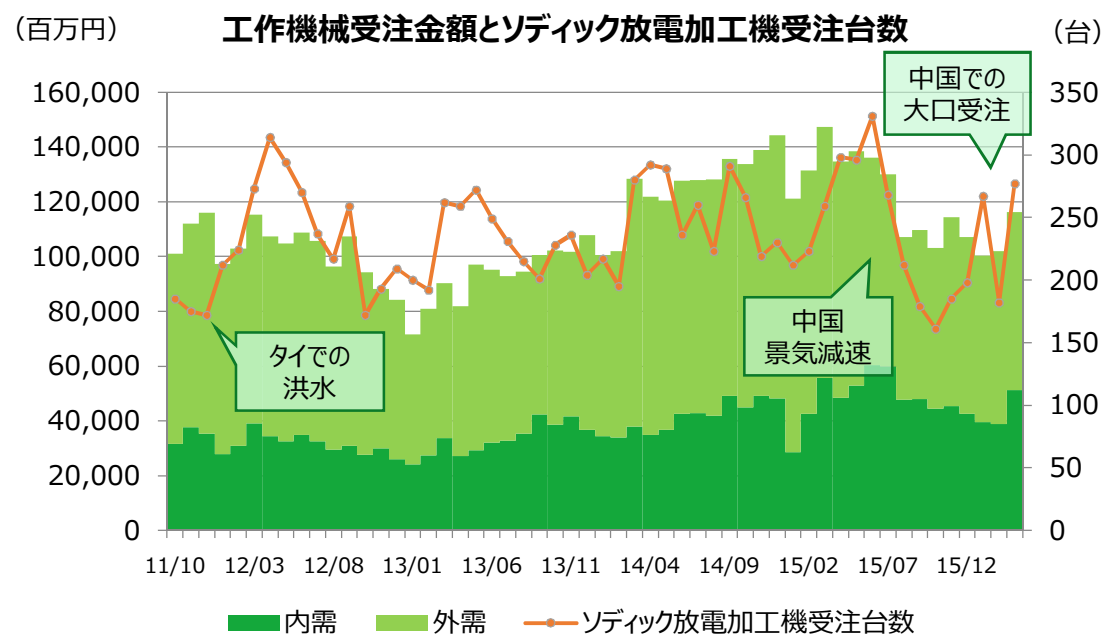




## **Ⅱ. 2017年3月期 業績予想**

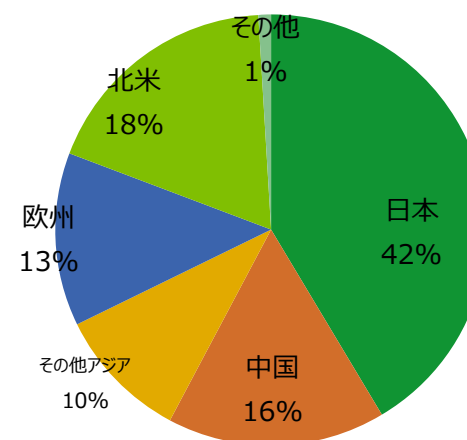


- ✓ 国内：政府の補助金政策や老朽化設備の更新需要により、堅調な需要が継続する見通し。
- ✓ 北米、欧州：自動車、航空宇宙・医療機器関連の設備投資需要が底堅い。今後も引き続き、好調に推移する見通し。
- ✓ 中国及び新興国：中国の成長率鈍化の影響もあり、総じて減速感が見られ、先行きに不透明感がある。ただ、中国市場では人件費の高騰等を背景に自動化への対応、より高精度な機械の需要が増加。
- ✓ 中国などの新興国経済の減速、原油をはじめとする資源価格の下落、中東・欧州等での地政学リスクなどの懸念材料があるが、グローバル市場でのものづくりの発展に伴い、機械の需要は前期並みの水準を維持する見込み。



出典：日本工作機械工業会

工作機械 地域別受注構成比  
(2015年4月-2016年3月累計)



出典：日本工作機械工業会

## 2017年3月期 業績予想

- ✓ 2017年3月期は新製品の投入などにより販売台数増加を見込んでいるものの、前期に比べ為替レートを円高に見込んでいることから売上は微増の見通し。

(百万円)

	2016年3月期		2017年3月期		前期比	
	実績	利益率	予想	利益率	金額	増減率
<b>売上高</b>	65,146	-	<b>65,500</b>	-	353	0.5%
<b>営業利益</b>	6,353	9.8%	<b>5,800</b>	<b>8.9%</b>	△553	△8.7%
<b>経常利益</b>	5,719	8.8%	<b>5,600</b>	<b>8.5%</b>	△119	△2.1%
<b>当期純利益</b>	4,167	6.4%	<b>4,300</b>	<b>6.6%</b>	133	3.2%
包括利益	1,105					
ROE	8.4%					
期中平均 為替レート	ドル	120.15 円		113.62 円		
	ユーロ	132.60 円		124.11 円		
	人民元	19.21 円		17.35 円		
	バーツ	3.44 円		3.18 円		

# セグメント別 通期予想

(百万円)

		2016年	2017年	前期比	
		3月期	3月期	(額)	(率)
		実績	予想		
売上高	● 工作機械事業	47,789	46,440	△ 1,349	△2.8%
	● 産業機械事業	8,633	8,860	226	2.6%
	● 食品機械事業	3,562	3,900	337	9.5%
	● その他事業	5,161	6,300	1,138	22.1%
			65,146	65,500	353
セグメント利益	● 工作機械事業	7,113	6,610	△ 503	△7.1%
	● 産業機械事業	319	360	40	12.5%
	● 食品機械事業	492	530	37	7.6%
	● その他事業	813	800	△ 13	△1.7%
			8,739	8,300	△ 439
調整額		△ 2,386	△ 2,500	△ 113	-
営業利益 合計		6,353	5,800	△ 553	△8.7%

## 工作機械事業

- ✓ 先進国市場を中心に設備投資需要は好調に推移する見通しだが、為替動向が円高に転じていることにより売上高は前期比2.8ポイント減少する見込み。
- ✓ 営業利益は、売上高の減少及び研究開発費の増加等により減少する見通し。

## 産業機械事業

- ✓ 低価格競争により、射出成形機の海外市場は引き続き厳しい状況が続く見通し。
- ✓ 原価低減の取り組み強化により営業利益は増加を見込む。

## 食品機械事業

- ✓ 国内外での需要増加及び収益改善により、売上高、利益共に増加する見込み。

## その他事業

- ✓ リニアモータの外販、精密金型・精密成形事業が引き続き堅調に推移する見通し。

✓ 2017年3月期の各項目に関する予想については、以下の通り。

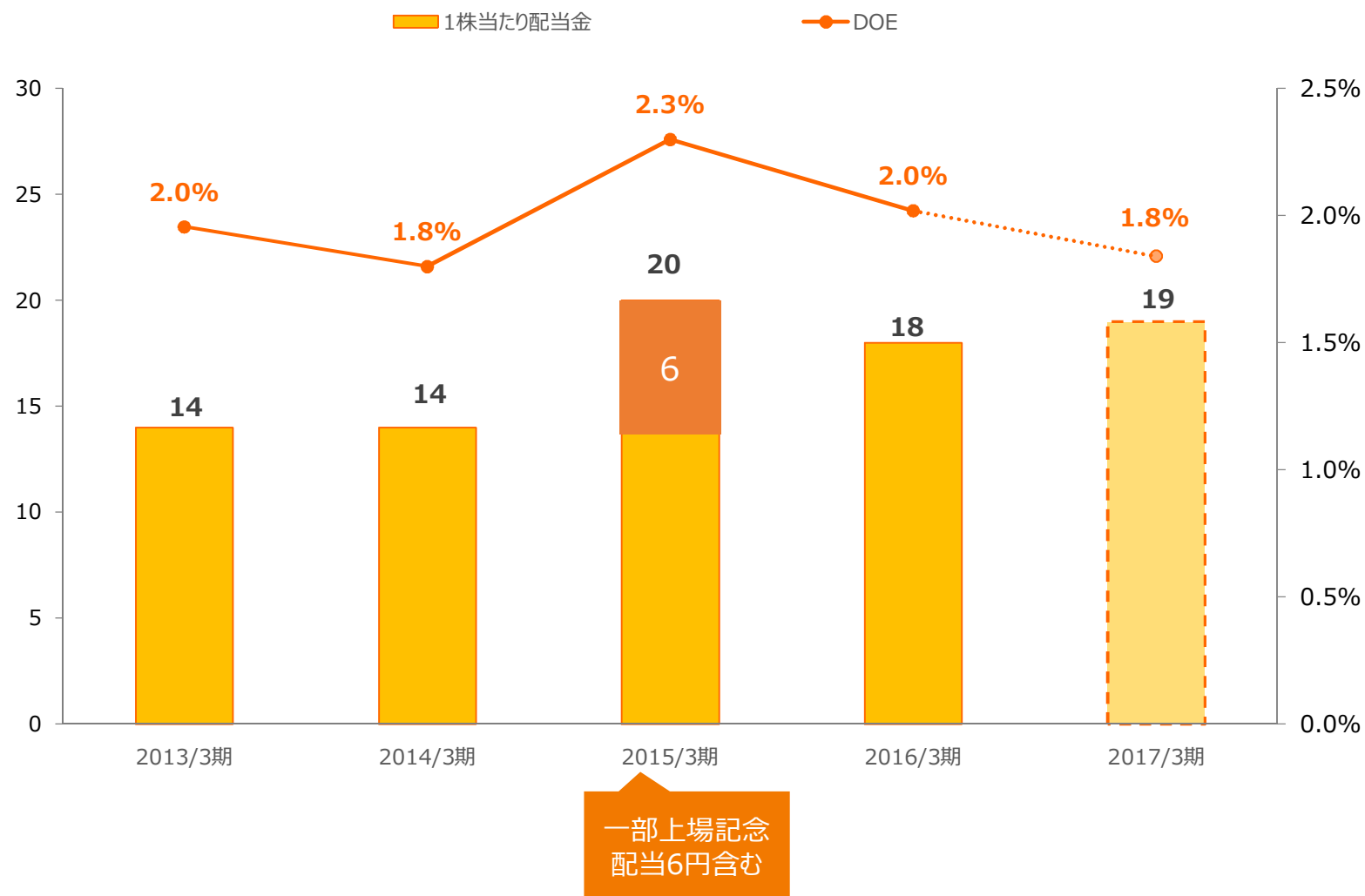
<b>設備投資</b>	<p>設備投資は約23億円（前期比△5億円）を見込む。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・次世代要素技術に関わる半導体研究開発設備</li><li>・生産性向上に向けた既存設備の更新と高度化</li><li>・海外営業拠点の整備（金属3Dプリンタ及び次世代製品群の販売拡大）</li></ul>
<b>減価償却費</b>	<p>減価償却費は約25億円（前期比△2億円）と前期並み程度を見込む。</p>
<b>研究開発費</b>	<p>研究開発費は約38億円（前期比+4億円）と高水準を維持。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・金属3Dプリンタ関連の研究開発</li><li>・新電源、次世代CNC及び新機種の開発</li><li>・高付加価値な成形を可能にする新機種の開発及び金型成形自動化設備の開発</li></ul>

## Ⅲ. 株主還元

---

# 株主還元方針及び配当予想

- ✓ 配当方針として株主資本配当率（DOE）2%以上を目指す。
- ✓ 2017年3月期の年間配当金は、19円の予定（中間9円、期末10円）。

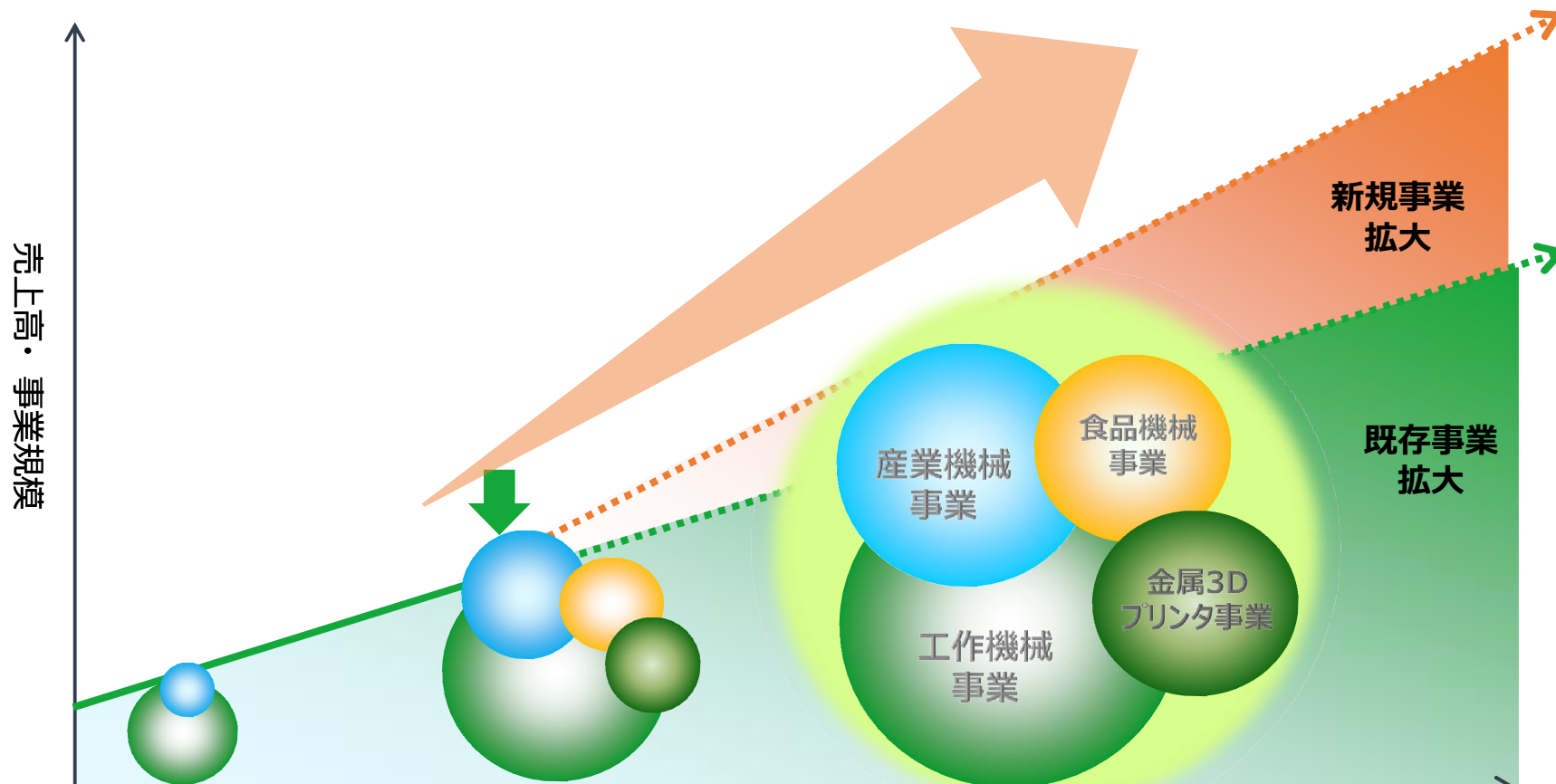


## **IV. 中長期的戦略及び見通し**

---



新たなフェーズへの移行から1年。  
既存事業の拡大とともに、金属3Dプリンタの本格的収益化を図る。



**フェーズ1**

- 工作機械事業を主軸に、産業機械事業など他の事業領域にも進出
- 海外への拡大

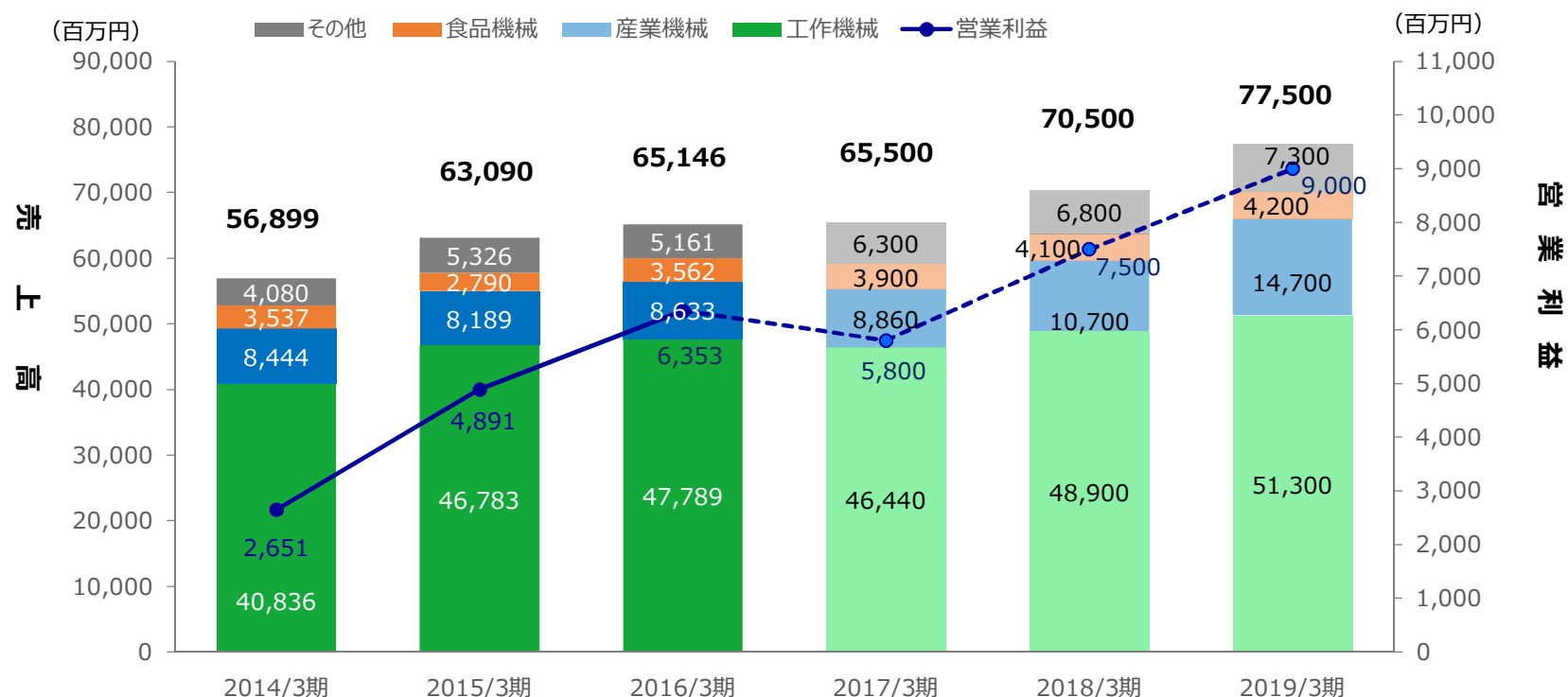
**フェーズ2**

- 金属3Dプリンタ事業立ち上げ
- 既存事業の更なる拡大

**フェーズ3**

- 放電加工機を中心に、金属3Dプリンタ射出成形機、食品機械を相乗的に拡大

2019年3月期までに、売上高775億、営業利益90億を展望。



実績 ← 計画

- ✓ コアテクノロジーの内製化
- ✓ 金属3Dプリンタの販売拡大
- ✓ 放電加工機技術の発展
- ✓ 産業機械事業、食品機械事業のグローバル展開の強化
- ✓ 製造拠点の海外移管による海外生産比率の拡大
- ✓ リプレイス需要等国内外の需要取り込み、マーケットシェア拡大
- ✓ 生産効率の向上、調達コスト削減への取り組み
- ✓ 生産効率向上、調達コスト削減への取り組み強化

## 工作機械事業

- ✓ **全地域におけるマーケットシェア拡大**
  - ⇒新興国マーケットにおいて、低価格機種「V Lシリーズ」の販売強化
  - ⇒先進国マーケットにおいて、当社主力製品である高精度ワイヤ放電加工機「A Lシリーズ」を拡販
- ✓ **金属3Dプリンタの販売・研究開発を加速**
  - ⇒北米・欧州向けの販売を本格的に開始
  - ⇒造形速度、メンテナンス性の向上、使用材料のラインナップ拡充により市場を拡大
- ✓ **生産の効率化、機種統合により製造原価を低減**

## 産業機械事業

- ✓ **海外売上高比率を70%以上に向上**
  - ⇒製造原価の低減、販売体制の再構築・営業強化
  - ⇒海外マーケットに合った射出成形機の開発、販売
- ✓ **ラインナップの更なる拡充により、新たな需要を創出**
  - ⇒新素材、成形方法の改良に合わせた新機種を開発
  - ⇒金属3Dプリンタに適した射出成形機を開発
- ✓ **収益力強化を目指した原価低減プロジェクトへの取り組みを開始**

## 食品機械事業

- ✓ **新工場立上げによる収益力の改善**
  - ⇒製造拠点の集約による生産効率の改善
  - ⇒ショールーム・研究室の新設による製品開発および販売促進強化
- ✓ **海外市場向けの製品開発により海外売上高拡大**

**(参考資料)**



# 国内外の主要拠点



- 本社
- 生産拠点
- 開発拠点
- 販売・サービス拠点

## 主な展示会への出展情報

✓ 国内外の展示会へ参加し、積極的な営業活動を展開いたします。

期間	開催地		展示会	概要
5/23～27	ロシア	モスクワ	Metallobrabotka (金属加工技術に関する技術、工作機械、金型のための国際的な専門見本市)	
5/25～28	マレーシア	クアラルン プールの	Metal Tech2016	
6/22～26	中国	北京	CIMES (China International Machine Tool & Tools Exhibition)	
6/22～25	タイ	バンコク	InterMold Thailand2016	
6/28～7/1	中国	上海	DMC (Die & Mold China) 2016	
7/5～8	ベトナム	ホーチミン	MTA Vietnam 2016 (International Precision Engineering, Machine Tools and Metalworking Exhibition & Conference)	
7/7～10	タイ	バンコク	InterPlas Thailand 2016	
7/27～30	インドネシア	スラバヤ	MachineTools & manufacturing Indonesia-Surabaya	
9/12～17	アメリカ	シカゴ	IMTS 2016 (国際工作機械見本市)	世界三大工作機械展示会
9/13～17	ドイツ	シュツット ガルト	AMB (International Exhibition for metalworking: 国際金属加工展)	
10/6～8	ベトナム	ホーチミン	METALEX VIETNAM (ベトナム国際工作機械・加工展)	
11/29～12/2	中国	東莞	東莞DMP2016 (東莞国際金型・金属加工展覧会)	
11/17～22	日本	東京	JIMTOF2016	世界三大工作機械展示会
11/23～26	タイ	バンコク	MetalexThai (タイ国際工作機械・加工展)	
12/16～19	インドネシア	ジャカルタ	MachineTools Indonesia	

2016年4月14日以降に発生した熊本地震で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

当社グループは、熊本地震にて被災されたお客様に対し、各工場及びサービス担当者による応援チームを組織し、機械の調整・検査・部品交換等の復旧作業を行ってまいりました。なお、2016年5月13日に全ての復旧作業が終了しております。

被災されたお客様の一日も早い生産復旧に向け、引き続き全面支援をしております。

また、被災地の復旧を願い、4月25日に日本赤十字社を通じ義援金1,200万円を寄付いたしました。当社グループは、被災地の皆さまに貢献できることを、今後も引き続き実行してまいりたいと考えております。

被災された皆様の一日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。



本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社ソディック 経営管理部

〒224-8522 神奈川県横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号

TEL : 045-942-3111 FAX : 045-943-5835